



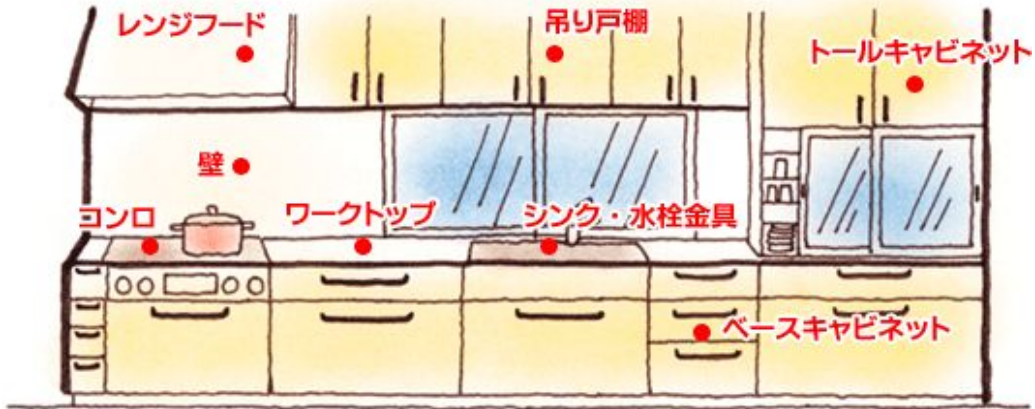
Lesson 2

システムキッチンを研究しよう

レイアウトに合わせて
部材を選んでいきましょう!

キッチン・パーツには、どんなものがあるの？

システムキッチンには、部材の選択の自由度が高い部材型と、ある程度規格化された簡易施工型の二種類があります。また、オーダーメイドキッチンの場合、異なるメーカーから好きなパーツを選んで作ることもできます。

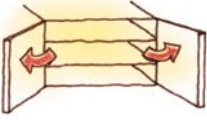
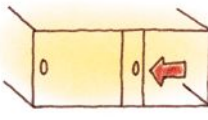
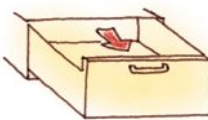
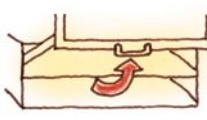


壁	レンジフード	吊り戸棚	コンロ
コンロまわりの壁に、汚れが落としやすいキッチンパネルがお勧めです。	オープン型キッチンの流行にともない、最近では機能に加え、デザイン性も高まってきました。	最近は、高い位置の物が、取りやすい昇降式、開けたままで使えるスライド式も…。	標準は3口コンロ・グリル付だが、最近ではIHクッキングヒーターも人気に！！
トールキャビネット	ワークトップ	シンク・水栓金具	ベースキャビネット
キッチン本体以外の収納棚も、システムキッチンとコーディネートされる傾向が…。	キッチンカウンターの上部のこと。素材はステンレスや人造大理石などが主流になってきました。	大きな鍋も洗いやすい形状、シャワーヘッド付など、各メーカーでの工夫が一杯あります。	カウンター下の収納キャビネットのこと。各メーカーとも引出し式の扉が主流。

●ワークトップの種類と特徴

ステンレス 熱や汚れに強い素材として実用性に富んでいて、価格も安め	人造大理石 素材に高級感があって色や柄の種類も多く、価格も高め。
鏡面仕上げ 光沢が美しい仕上げでステンレス特有の冷たい質感を和らげる。熱や汚れに強く、実用的。	ポリエステル系 耐久性に優れ、アクリル系より安いので普及している。御影石調などは傷が目立ちにくい。
エンボス加工・ヘアライン加工 表面に細かい凹凸や髪の毛のような細かいラインが施されたもの。傷がつくと目立ちやすい。	アクリル系 表面から内部まで、均一の素材でできていて、ポリエステル系より、耐久性に優れ、価格が高め。

● 収納扉の開き勝手

開き戸	引き戸	引出し	フラップ扉
			
つくりがシンプルで、価格も割安。数年前までキャビネットの主流はこのタイプ。	扉手前に開閉スペースがいらず、狭いキッチンで活躍。開けたままでの作業もOK。	奥に入れたモノ、重いモノも出し入れしやすい。今やベースキャビネットの主流。	左右に開閉する引き戸と違い、上下に開閉。こちらを開けたままでの作業がOK。

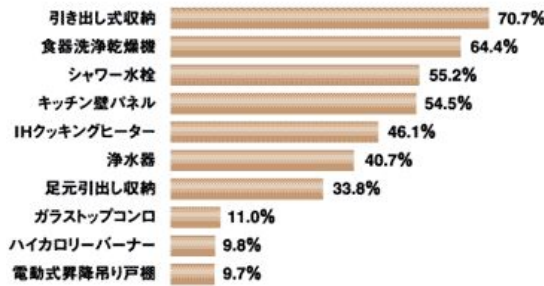
機器類はビルトインしたほうがいいの？

より美しく、より使いやすく！！省スペースにもなるよ！

キッチンに必要な周辺機器をとり入れることにより、作業効率がアップするのはもちろんのこと、バラバラに買い足してきた家電を置くより省スペースになるというメリットもあります。

シンクまわり	キャビネットまわり
<p>浄水器 ビルトインでは専用水栓を付けたアンダーシンク型が主流。</p> <p>食器洗浄乾燥機 最近 は がまずに食器を出し入れできる引出し式が人気。</p> <p>食器乾燥機 食器を手で洗いたい人向け。乾燥機はそのまま食器収納に！</p> <p>生ゴミ処理機 生ゴミを分解して減量。ガーデニングの肥料にすることもできる。</p> <p>シャワー水栓 水流をシャワー状に。ホースを伸ばせばシンク掃除もラクラク。</p>	<p>キッチン壁パネル 油汚れが落ちやすい素材の壁。コンロ付近によく使われる。</p> <p>足元温風ヒーター シンクの足元などから温風を出す。とくに冬場などは長宝。</p> <p>引き出し式収納 奥にしまったモノも出し入れしやすいフロアキャビネット。</p> <p>足元引出し収納 従来デッドスペースだった足元の台輪部分も引き出しに！！</p> <p>電動式昇降吊り戸棚 高い位置にある吊り戸棚から収納カゴごと下りてくるもの。</p>
コンロまわり	家電類
<p>ハイカロリーバーナー バーナーを搭載したコンロで、火力4000kcal以上が一般的。</p> <p>IHクッキングヒーター 熱効率が高く余熱利用が可能。電気なので空気がよごれない。</p> <p>ガラストップコンロ 熱や衝撃に強いガラスを採用。油汚れなどが落としやすい。</p> <p>下引き換気扇 コンロのそばから煙や湯気を吸気し、ダクトを通して排気。</p>	<p>オープン システムキッチンの家電類にビルトインするとスマートに。</p> <p>電子レンジ オープンも兼ねるコンビネーションタイプなら省スペースに。</p> <p>冷蔵庫 システムキッチンの扉とコーディネートできる商品もある。</p>

【ビルトイン設備の設置率】



「注文住宅と住宅設備に関する動向調査2002」(リクルート調べ)

引き出し式収納

ここ数年で各メーカーから登場したもの。登場と同時に半数近い採用率をうちだし、その後も増え続け、いまや7割以上となり、キャビネットの主流です。

食器洗淨乾燥機

家事の負担が軽くなるだけでなく、70度以上の高温のお湯で洗うため衛生的であること、すすぎの水量が手洗より少なくすむことなどの認知が広まって、人気上昇中。

シャワー水栓

シャワーと真流とを切り替えて使う混合水栓。ホースを伸ばせばシンクまわり掃除や、ポットや鍋への水汲みもしやすく、大きなコストアップにもならないことから人気に。

IHクッキングヒーター

火を使わず安全、フラットで掃除もしやすいなどで人気。さらに近年の住宅の高気密・高断熱化に伴い、空気が汚れない点にも注目が集まり、ここ数年で人気急上昇。

キッチン壁パネル

目地のない1枚パネルで、汚れがこびりつきにくく落としやすく、コンロ前に設置することが多い。商品によってシステムキッチンに標準装備されているのも人気の理由。